ＭＯＩ－Ｅ０００２１

日本電気通信システム株式会社

Tele Circle® （MT-20）
取扱説明書

本商品は、NTT ドコモの提供する「mova」「FOMA」「パルディオ」において当社が動作確認を行い、
NTT ドコモより「LinktoDoCoMo」ロゴの使用許諾を受けたものです。

はじめに

　このたびは電話会議端末をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用の前には必ず、“安全上の注意”をお読みください。製品を安全に正しくお使いいただくための注意が書かれています。
　なお、本書の一部は保証書になっておりますので、お読みいただいたあとも大切に保管してください。

情報処理装置等電波障害自主規制について

　この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
　取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

輸出する際の注意事項

本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。
本製品を海外に持ち出す場合は外国為替および外国貿易法を確認され、同法を遵守して下さい。

安全上の注意

＜安全にお使いいただくためにかならずお守りください＞

本書は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った使い方をすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」の２つに区分し、絵記号を使って示しています。絵記号の表示と意味は次のようになっています。

警告表示の意味

⚠ 警 告	この表示の注意事項を守らないで、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示の注意事項を守らないで、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合はＡＣアダプタを抜く）が描かれています。

⚠ 警 告

分解禁止	●分解・改造をしない 火災・感電・故障の原因となります。
禁 止	●上に物を置かない 本体の上や近くに水の入った容器を置かないでください。 落下したり、こぼれたりすると、火災・感電・故障の原因となります。

⚠警告

●金属類を差し込まない

すき間などから内部に金属類を差し込んだりしないでください。万一、内部に入ったときは、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●水で濡らさない

水滴がついたときは、乾いた布で拭き取ってください。
万一、内部に水が入ったときは、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●付属以外のＡＣアダプタを使用しない

ＡＣアダプタは必ず付属のものを使用してください。
付属以外の物を使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●ＡＣアダプタの刃にほこりが付着していないか確認し、刃の根元まで確実に差し込む

ＡＣアダプタの刃にほこりが付着したり、金属が触れると、火災・感電の原因となります。

●濡れた手でＡＣアダプタにさわらない

感電の原因となります。

●雷が激しいときはＡＣアダプタコード・電話回線コードにさわらない

感電の原因となります。

●ＡＣアダプタのコードを傷つけない

コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、コードの上に重いものをのせたりしないでください。万一、コードが痛んだときは、販売店に交換を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●異常が起きたときには

万一、煙がでている、変な臭い、異常な音がするなどの場合は、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●汚れたときのお手入れのしかたは

汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤等を用いると外装や文字が変質する恐れがありますので使用しないでください。

⚠注 意

禁 止

●湿気の多い場所には置かない

火災・感電・故障の原因となります。

禁 止

●油煙や湯気のあたる場所に置かない

調理台や加湿器などのそばに置かないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

禁 止

●ほこりの多い場所に置かない

火災・感電・故障の原因となります。

禁 止

●直射日光の当たる場所に置かない

内部の温度が上がり、火災の原因となります。

禁 止

●不安定な場所や振動の多い所に置かない

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となります。
万一、本体の一部が破損したときは、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

禁 止

●ＡＣアダプタのコードに熱器具を近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

強 制

●ＡＣアダプタを抜くときは、ＡＣアダプタ本体を持って抜く

コードを引っ張るとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

強 制

●移動させるときはＡＣアダプタと電話回線コードを抜く

コードを接続したまま移動を行うとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

●使用しないときはＡＣアダプタを抜く

本体をご使用にならない場合は、安全のためＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。

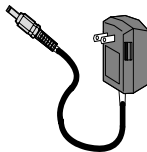
もくじ

箱の中身を確認します

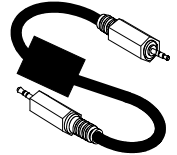
　箱を開けて以下のものが全て揃っているかどうか確かめてください。もし万一、不足しているものがある場合には、お買い求めの販売店にご連絡ください。

・本体１台

・ヘッドセット４本

・ＡＣアダプタ
（コード長２ｍ）１個

・６極２芯モジュラーケーブル
（コード長１ｍ）１本

・４極４芯モジュラーケーブル
（コード長０．３ｍ）１本

・ＰＨＳ／携帯電話接続ケーブル
（コード長１ｍ）１本

・イヤホンマイク変換アダプタ　１個

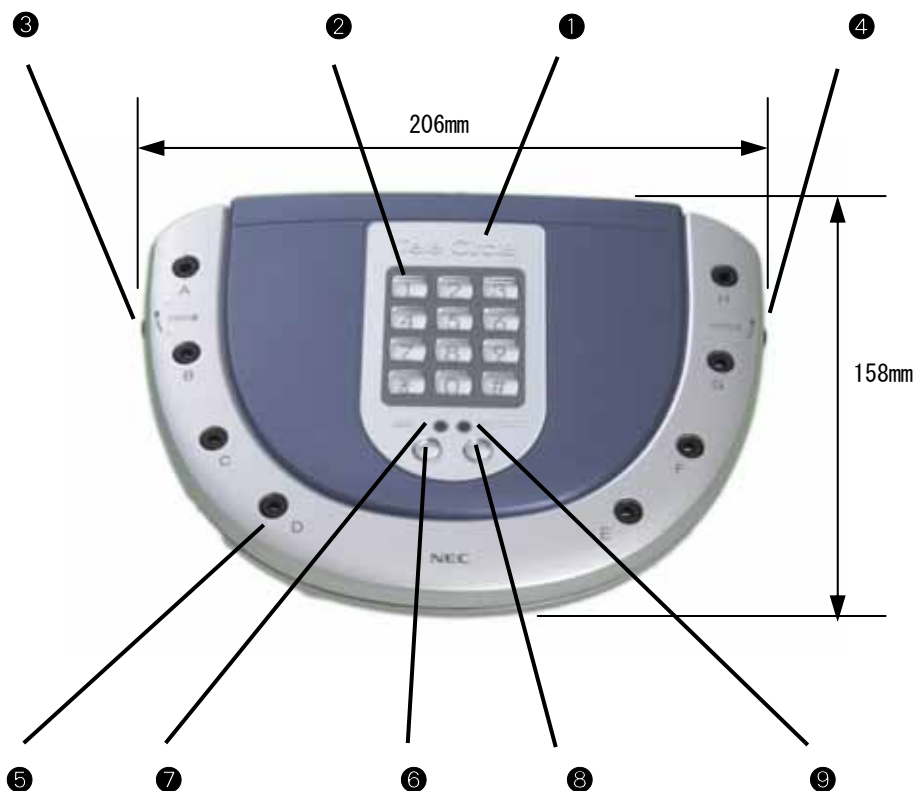
・説明書（本書）１冊

製品の説明

本機は、一般の電話回線（公衆回線）はもちろんのこと、オフィスのキーテレホン、お手持ちのＰＨＳ／携帯電話に接続して、８人までの電話会議を手軽に実現できる電話会議端末です。ヘッドセットの使用により、騒々しい場所でもクリアな音質が確保されます。また、静かなオフィスでも周りに気兼ねすることなく、快適な会議環境を提供します。

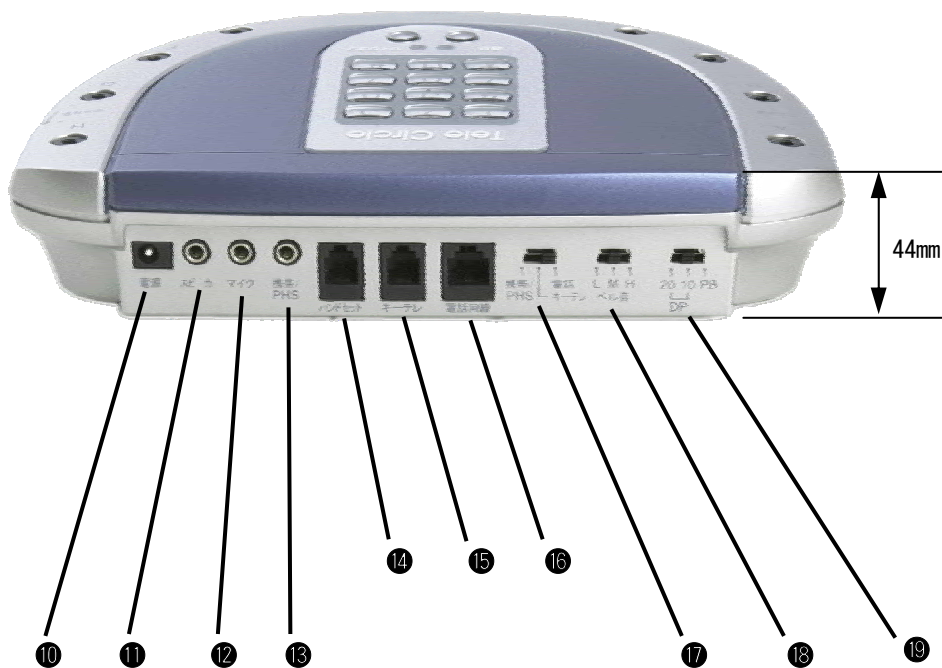
各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらきについて以下に示します。
※キーテレホンはディジタル電話機を示します。

◆本機上面

◆操作箇所のなまえと説明（❶～❾）

Ｎｏ．	名称	説明
❶	装置名称	「Tele Circle」
❷	ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ	電話をかけるとき、相手側の電話番号を入力します。（電話回線で使用の場合）
❸	送話音量 ﾎﾞﾘｭｰﾑ	各モードにおける送話音量を調整します。 ８本のヘッドセット全てが同音量に調整されます。
❹	受話音量 ﾎﾞﾘｭｰﾑ	各モードにおける受話音量を調整します。 ８本のヘッドセット全てが同音量に調整されます。
❺	ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ A-H	ヘッドセットを接続します。最大８個まで接続できます。
❻	通話ｽｲｯﾁ	電話をかけるとき、または相手からの電話を受けるときに押します。 押すと本機が電源オンの状態になり､「通話ランプ」（❼）が点灯します。
❼	通話ﾗﾝﾌﾟ （緑）	呼出音が鳴っているときに点滅（電話回線で使用の場合）し、通話中は点灯します。
❽	ﾏｲｸｵﾌｽｲｯﾁ	ヘッドセットのマイク出力をオフにします。 押す度にマイク出力のオン／オフが切り替わります。
❾	ﾏｲｸｵﾌﾗﾝﾌﾟ （橙）	マイクオフ状態のときに点灯します。

◆本機背面

Tele Circle
電源
スピーカ
マイク
携帯/PHS
ハンドセット
キーテレ
電話回線
携帯/PHS
電話キーテレ
L M H
ベル音
20 10 PB
DP
44mm
❿
⓫
⓬
⓭
⓮
⓯
⓰
⓱
⓲
⓳

◆操作箇所のなまえと説明（⑩～⑲）

Ｎｏ．	名称	説明
⑩	電源端子	付属品のＡＣアダプタを接続します。
⑪	ｽﾋﾟｰｶ端子	推奨する外部スピーカを接続できます。録音機器を接続して録音端子としても使用できます。
⑫	ﾏｲｸ端子	推奨する外部マイクを接続できます。
⑬	携帯/PHS 端子	付属品の接続ケーブルを使用してＰＨＳまたは携帯電話のイヤホンマイク端子に接続します。
⑭	ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄ端子	キーテレホンの受話器を接続します。
⑮	ｷｰﾃﾚ端子	付属品の４極４芯モジュラージャックケーブルを使用して、キーテレホンの受話器インタフェース部コネクタと接続します。
⑯	電話回線端子	電話回線を接続します。
⑰	電話／ｷｰﾃﾚ／携帯/PHS ｽｲｯﾁ	接続する回線モードを選択するためのスライド式スイッチです。 電話回線／キーテレ／携帯/PHS の３種類から１つを選びます。
⑱	ﾍﾞﾙ音 L/M/H ｽｲｯﾁ	呼出ベル音を調整するためのスライド式スイッチです。 Ｌ(小) ⇔ Ｍ(中) ⇔ Ｈ(大)の３段階の調整ができます。
⑲	PB/DP10/20 ｽｲｯﾁ	ＰＢ、ＤＰ(10PPS)、ＤＰ(20PPS)の切替を行うためのスライド式スイッチです。いずれか１つを選びます。

電話回線に接続する場合の使い方

製品をご使用になる前の準備として、まず、本機と一緒に梱包されている、付属品を使って、本機の配線を行います。配線後、接続形態に従って設定を完了させます。

・配線の際、ＡＣアダプタは、必ず付属品を使ってください。付属品以外のものを使いますと、故障の原因となります。
・本機使用中にヘッドセットを抜き差しする場合は、マイクオフスイッチを押し、マイクオフランプが点灯している状態で行ってください。マイクオンの状態で抜き差しした場合、故障の原因となります。

◆接続図

①ヘッドセットを本体上面のA-H（❺）に接続します。
②本機背面の接続口「電話回線」（⓰）と電話回線モジュラーコンセントを付属の６極２芯モジュラーケーブルで接続します。
③ＡＣアダプタを接続します。

◆設定

本機背面のスイッチを下記のように設定してください。

（１）「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」スイッチ（⑰）を“電話”に設定します。
（２）「ＰＢ／ＤＰ１０／ＤＰ２０」スイッチ（⑲）で、使用している電話回線の種類を選びます。

設定値		回線種別
DP20	：	ダイヤル回線（20PPS）
DP10	：	ダイヤル回線（10PPS）
PB	：	プッシュホン回線

（３）「ベル音　Ｌ／Ｍ／Ｈ」スイッチ（⑱）で呼出音の音量を設定します。

設定値		呼出音量
Ｌ	：	（小）
Ｍ	：	（中）
Ｈ	：	（大）

◆使用手順

電話をかける

①「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

②本機のキーパッド（❷）を使って相手先電話番号を押し、電話をかけます（※４）

電話を受ける

①着信すると呼出音が鳴ります（※２）
②「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

通話音量を調整する

①ヘッドセットを装着し通話音を調整します
相手側からの音量：本機右側面の「受話音量」ボリューム(❹)で調整します。
こちら側からの音量：本機左側面の「送話音量」ボリューム(❸)で調整します。
相手に声を伝えたくない場合：「マイクオフ」スイッチ（❽）を押します。

終了する

①会議が終わったら、「通話」スイッチ（❻）を押して電話を切ります（※３）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが切れません。

※１：「通話」ランプ（緑）（❼）が点灯します。
※２：「通話」ランプ（緑）（❼）が点滅します。
※３：「通話」ランプ（緑）（❼）が消灯します。
※４：番号をかけ間違えたときは、「通話」スイッチを押して、一旦切ってから再度「通話」スイッチを押してかけ直します。

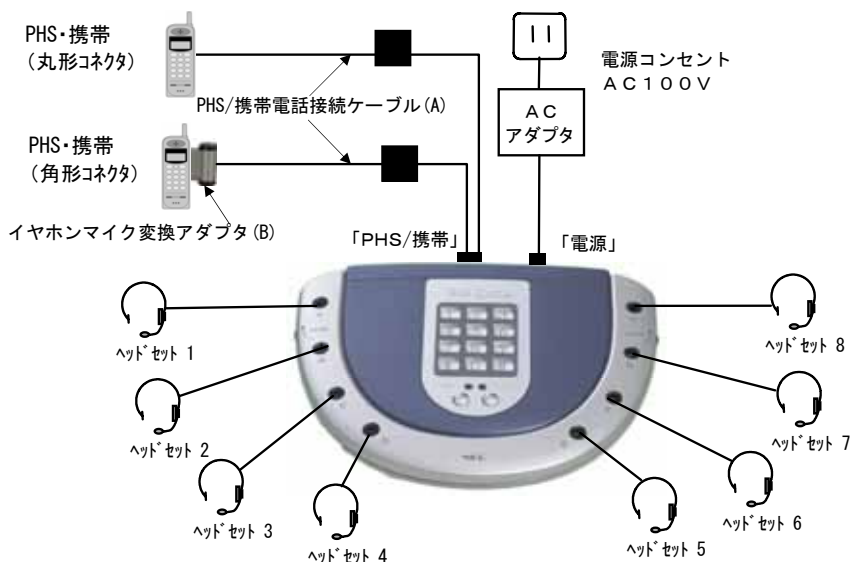
ＰＨＳ・携帯電話に接続する場合の使い方

製品をご使用になる前の準備として、まず、本機と一緒に梱包されている、付属品を使って、本機の配線を行います。配線後、接続形態に従って設定を完了させます。

・配線の際、ＡＣアダプタは、必ず付属品を使ってください。付属品以外のものを使いますと、故障の原因となります。
・本機使用中にヘッドセットを抜き差しする場合は、マイクオフスイッチを押し、マイクオフランプが点灯している状態で行ってください。マイクオンの状態で抜き差しした場合、故障の原因となります。

◆接続図

①ヘッドセットを本体上面の A-H（❺）に接続します。
②ＰＨＳ／携帯電話のイヤホンマイク端子の形状を確認します。
丸型の場合：付属の PHS/携帯電話接続ケーブル(A)で、本機背面の「携帯/PHS」端子（⓭）と PHS/携帯電話のイヤホンマイク端子を接続します。
角型の場合：付属の PHS/携帯電話接続ケーブル(A)を本機背面の「携帯/PHS」端子（⓭）に接続します。PHS/携帯電話接続ケーブル(A)とイヤホンマイク変換アダプタ(B)を接続します。イヤホンマイク変換アダプタ(B)を PHS/携帯電話のイヤホンマイク端子に接続します。
③ＡＣアダプタを接続します。

◆設定

本機背面のスイッチを下記のように設定してください。

（１）「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」スイッチ（⓱）を“携帯/ＰＨＳ”に設定します。
（注）ＰＨＳ／携帯電話使用の場合、設定スイッチ⓲、⓳は使用しません（無効となります）。

◆使用手順

電話をかける

①ＰＨＳ／携帯電話のダイヤルボタンを押して相手に電話をかけます（※３）
②相手側とつながったらＰＨＳ／携帯電話はそのままで本機の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

電話を受ける

①着信するとＰＨＳ／携帯電話から呼出音が鳴ります
②ＰＨＳ／携帯電話で受信します
③ＰＨＳ／携帯電話はそのままにして本機　の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

通話音量を調整する

①**ＰＨＳ／携帯電話の受話音量を、中間に設定して下さい。**
※ ５，６段階調整の機種は３に、３段階調整の機種は２に設定します
②ヘッドセットを装着し通話音を調整します
相手側からの音量：本機右側面の「受話音量」ボリューム(❹)で調整します。
こちら側からの音量：本機左側面の「送話音量」ボリューム(❸)で調整します。
※ボリュームを調整する場合は、低い方から徐々に大きくしていくように調整して下さい
相手に声を伝えたくない場合：「マイクオフ」スイッチ（❽）を押します。

終了する

①会議が終わったら、本機の「通話」スイッチ（❻）を押して、本機の電源をきります（※２）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが切れません。

②ＰＨＳ／携帯電話を切ります

※１：「通話」ランプ（緑）（❼）が点灯します。
※２：「通話」ランプ（緑）（❼）が消灯します。
※３：本機のキーパッド（❷）は使用できません。
番号をかけ間違えたときは、ＰＨＳ・携帯電話を一旦切ってから再度かけ直します。

注意！
１）電話機の機種によっては使用できない場合もあります。
２）**携帯電話からのノイズ音が入る場合は、本体と携帯電話をできるだけ離してご使用ください。**

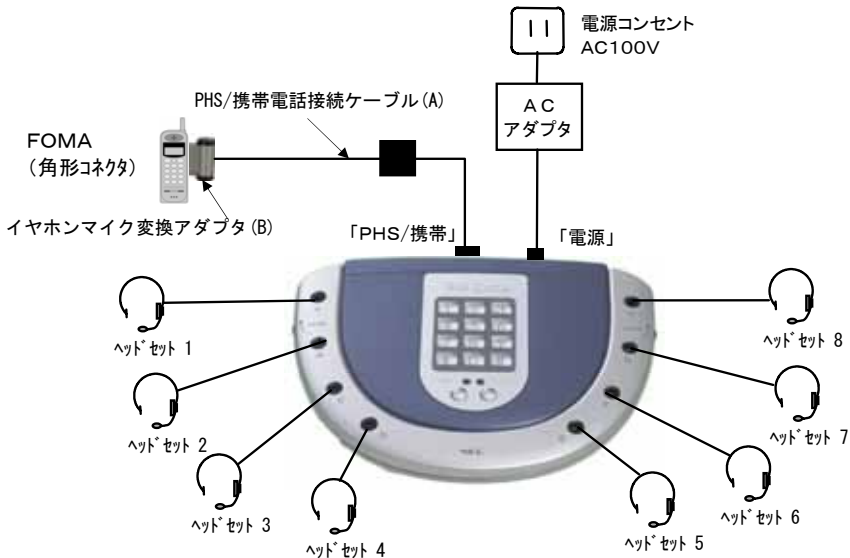
ＦＯＭＡ®に接続する場合の使い方

製品をご使用になる前の準備として、まず、本機と一緒に梱包されている、付属品を使って、本機の配線を行います。配線後、接続形態に従って設定を完了させます。

・配線の際、ＡＣアダプタは、必ず付属品を使ってください。付属品以外のものを使いますと、故障の原因となります。
・本機使用中にヘッドセットを抜き差しする場合は、マイクオフスイッチを押し、マイクオフランプが点灯している状態で行ってください。マイクオンの状態で抜き差しした場合、故障の原因となります。

◆接続図

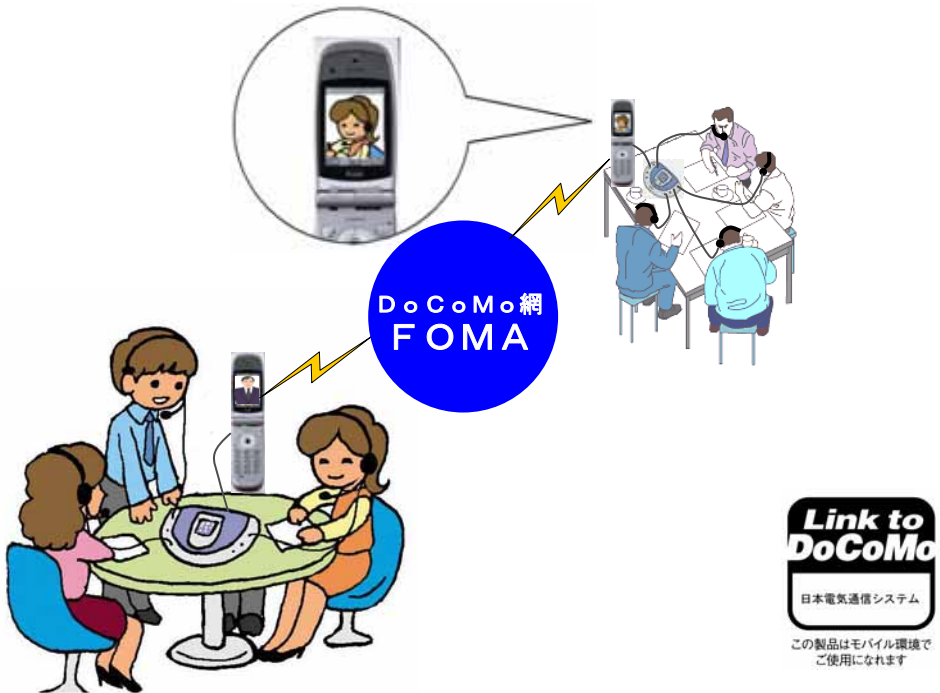
①ヘッドセットを本体上面のA-H（❺）に接続します。
②付属のPHS/携帯電話接続ケーブル(A)を本機背面の「携帯/PHS」端子（⓭）に接続します。PHS/携帯電話接続ケーブル(A)とイヤホンマイク変換アダプタ(B)を接続します。イヤホンマイク変換アダプタ(B)をＦＯＭＡのイヤホンマイク端子に接続します。
③ＡＣアダプタを接続します。

◆設定

FOMA を使用する場合の設定は、「ＰＨＳ・携帯電話に接続する場合の使い方」（p.15）と同じです。こちらをご参照下さい。

◆使用手順

FOMA を使用する場合の使用手順は、「ＰＨＳ・携帯電話に接続する場合の使い方」（p.15）と同じです。こちらをご参照下さい。

◆使用例

FOMA を使用して、相手の顔を確認しながら会議を行うことができます。

本商品は、NTT ドコモの提供する「mova」「FOMA」「パルディオ」において当社が動作確認を行い、NTT ドコモより「LinktoDoCoMo」ロゴの使用許諾を受けたものです。

※ 接続できる NTT DoCoMo の PHS／携帯電話の機種については、弊社ホームページでご確認下さい。

http://www.nec-miyagi.co.jp/product/mt20/index.html

キーテレホンに接続する場合の使い方

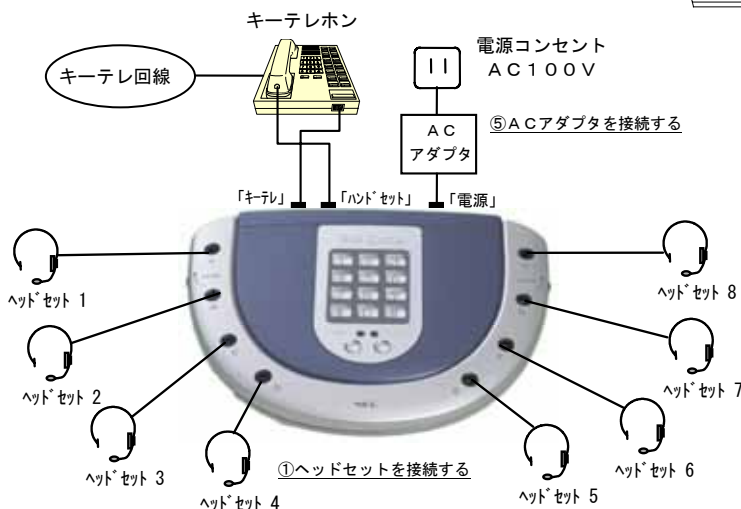
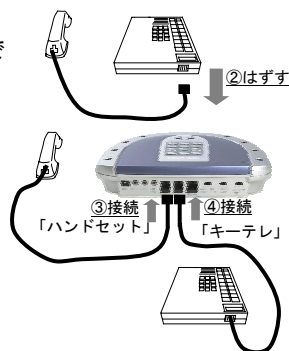
製品をご使用になる前の準備として、まず、本機と一緒に梱包されている、付属品を使って、本機の配線を行います。配線後、接続形態に従って設定を完了させます。

・配線の際、ＡＣアダプタは、必ず付属品を使ってください。付属品以外のものを使いますと、故障の原因となります。
・本機使用中にヘッドセットを抜き差しする場合は、マイクオフスイッチを押し、マイクオフランプが点灯している状態で行ってください。マイクオンの状態で抜き差しした場合、故障の原因となります。

◆接続図

①ヘッドセットを本体上面のA-H（❺）に接続します。
②キーテレホンの本体とハンドセット（受話器）をつないでいるケーブルをキーテレホン本体からはずします。
③②ではずしたコネクタを本機の接続口⓮（「ハンドセット」）に差し込み、ハンドセットと本機を接続します。
④付属の４極４芯モジュラーケーブルで、キーテレホンのハンドセットインタフェース（ハンドセットが接続されていた部分）と本機の接続口⓯（「キーテレ」）を接続します。
⑤ＡＣアダプタを接続します。

②はずす
③接続
「ハンドセット」
④接続
「キーテレ」

◆設定

本機背面のスイッチを下記のように設定してください。

（１）「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」スイッチ（⓱）を“キーテレ”に設定します。
（注）キーテレホン使用の場合、設定スイッチ⓲、⓳は使用しません（無効となります）。

◆使用手順

電話をかける

①キーテレホンのハンドセットを上げます
②キーテレホンのダイヤルボタンを押して相手に電話をかけます（※３）
③相手側とつながったらキーテレホンのハンドセットはそのままで本機の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

> **注意！**「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

電話を受ける

①着信するとキーテレホンから呼出音が鳴ります
②キーテレホンのハンドセットを上げます
③ハンドセットはそのままにして本機の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

> **注意！**「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

通話音量を調整する

①ヘッドセットを装着し通話音を調整します
相手側からの音量：本機右側面の「受話音量」ボリューム(❹)で調整します。
こちら側からの音量：本機左側面の「送話音量」ボリューム(❸)で調整します。
※ボリュームを調整する場合は、低い方から徐々に大きくしていくように調整して下さい
相手に声を伝えたくない場合：「マイクオフ」スイッチ（❽）を押します。

終了する

⑤通話が終わったら、本機「通話」スイッチ（❻）を押し、キーテレホンの受話器を戻して電話を切ります（※２）

> **注意！**「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが切れません。

※１：「通話」ランプ（緑）（❼）が点灯します。
※２：「通話」ランプ（緑）（❼）が消灯します。
※３：本機のキーパッド（❷）は使用不可です。
番号をかけ間違えたときは、キーテレホンの受話器を戻し、一旦切ってから再度かけ直します。

> **注意！**
> **電話機の機種によっては使用できない場合もあります。**

故障かな？と思ったときは

状況	確認する内容	処置
「通話」ランプが点灯しない	ＡＣアダプタがはずれていませんか。	ＡＣアダプタの接続を確認してください。
「通話」スイッチが入らない	「通話」スイッチの押下時間が短くないですか。	「通話」スイッチを、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。
ヘッドセットから声が聞こえない	本体の受話音量を絞っていませんか。	受話音量を調節してください。
	ヘッドセットがジャックからはずれていませんか。	ヘッドセットの接続を確認してください。
	ヘッドセットの受話音量を絞っていませんか。	ヘッドセットのコントローラで受話音量を調節して下さい。
通話できない	電話回線使用時、本機背面のスイッチ⓳（「ＰＢ／ＤＰ１０／ＤＰ２０」）の設定がご使用の電話回線のモードになっていますか。	本機背面のスイッチ⓳（「ＰＢ／ＤＰ１０／ＤＰ２０」）をご使用の電話回線モードに合わせてください。
	キーテレホン、ＰＨＳ・携帯電話使用時、本機背面の面のスイッチ⓱（「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」）が接続環境の設定になっていますか。	本機背面のスイッチ⓱（「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」）をご使用の電話回線モードに合わせてください。
通話相手に声が聞こえない	本体の送話音量を絞っていませんか。	送話音量をを調節してください。
	ヘッドセットがマイクオフになっていませんか。	ヘッドセットのコントローラ部のマイクオフスイッチをオンにして下さい。

仕様

本機の主な仕様を示します。

項目	仕様の説明
品名	Ｔｅｌｅ　Ｃｉｒｃｌｅ®（ＭＴ－２０）
型式番号	Ｅ００２０Ａ
使用回線	アナログ電話回線（ＰＢ／ＤＰ） ディジタルキーテレホン（ハンドセットインタフェース接続）　※１ ＰＨＳまたは携帯電話（イヤホンマイク端子接続）　※１ （NTT DoCoMo　ＰＨＳ／携帯電話　※２）
直流抵抗値	２３３Ω
ダイヤル方式	回転ダイヤル回線式(10PPS/20PPS)／プッシュホン回線式
使用電源	ＡＣ１００Ｖ
消費電力	最大３Ｗ
環境条件	動作温度:０～４０℃　(※３)　　動作湿度：３０～９０％　(※３) 保存温度　－１０～５０℃
寸法	幅２０６mm×高さ４４mm×奥行き１５８mm
重量	約４２０ｇ（本体のみ）

※１：電話機の機種によっては接続できない場合があります。
※２：接続できるＮＴＴ　ＤｏＣｏＭｏのＰＨＳ／携帯電話の機種については下記をご覧下さい。
http://www.nec-miyagi.co.jp/product/mt20/index.html
※３：Tele Circle をＰＨＳ／携帯電話（NTT DoCoMo のＰＨＳ／携帯電話を含む）に接続して使用する場合は、ＰＨＳ／携帯電話の動作範囲をご確認のうえ、ＰＨＳ／携帯電話の動作範囲内でご利用いただきますようご注意下さい。

修理を依頼されるとき

故障時の修理は、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

保証規定

1．取り扱い説明書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、保証書をご提示いただければ、付属品（ACｱﾀﾞﾌﾟﾀ、ｹｰﾌﾞﾙ等）を含めて無料にて故障箇所を当社所定の方法で修理させていただきますので、保証書添付の上、お問い合わせ先にご相談ください。

2．本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

3．次のような場合には、保証期間中であっても有料修理になります。
 (1) 本保証書のご提示がない場合。
 (2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
 (3) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
 (4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 (5) 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
 (6) 正常なご使用方法でも消耗部品が自然消耗、磨耗、劣化した場合。

4．ご不明の点は、お問い合わせ先までご相談ください。

5．本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お問い合わせ先までご相談ください。

保証書

■品名	Tele Circle® (MT-20)	■保証期間	お買い上げの日から１年
■型式番号	E0020A	※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所	〒	ＴＥＬ
	ご氏名		様
※販売店	住所	〒	ＴＥＬ
	店名		印

注１．本保証書は、保証期間中に本製品に故障が発生した場合、無料修理させていただくことをお約束するものです。再発行は致しませんので、大切に保管してください。
注２．※印欄に記入の無い場合は無効となりますので必ずご確認ください。もし記入のない場